



## 2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年2月3日

上場会社名 マルハニチロ株式会社  
 コード番号 1333 URL <https://www.maruha-nichiro.co.jp/home.html>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伊藤 滋  
 問合せ先責任者 (役職名) 広報IR部長 (氏名) 横山 嘉人 TEL 03-6833-0826  
 四半期報告書提出予定日 2020年2月7日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第3四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	698,390	△2.3	16,036	△20.0	18,635	△20.6	12,931	△25.2
2019年3月期第3四半期	715,159	1.0	20,046	△8.8	23,478	△6.5	17,285	10.1

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 14,133百万円 (△8.8%) 2019年3月期第3四半期 15,499百万円 (△25.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	245.72	—
2019年3月期第3四半期	328.45	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	572,650	161,762	23.7
2019年3月期	520,318	150,379	24.1

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 135,941百万円 2019年3月期 125,353百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	—	—	40.00	40.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	—	—	40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	910,000	△1.4	17,500	△19.6	19,500	△22.7	13,000	△22.1	247.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有  
 連結業績予想の修正については、本日（2020年2月3日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、〔添付資料〕P. 6「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- |                      |     |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更        | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| ④ 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期3Q	52,656,910株	2019年3月期	52,656,910株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	31,937株	2019年3月期	30,528株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期3Q	52,625,784株	2019年3月期3Q	52,628,433株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は世界経済・競合状況・為替・金利の変動等にかかわるリスク等の様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項は、〔添付資料〕P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料は2020年2月3日（月）に当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	6
(セグメント情報) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用情勢の改善と人手不足を背景とする設備投資が増加するなかで、企業業績については高水準にあるものの弱含みの傾向となっています。また、消費増税の影響や大型台風などの自然災害に伴う消費者マインドの変化がリスク要因として懸念されます。

当社グループ関連業界におきましては、国内における水産物取扱量が引き続き低調であり、また、原材料費や物流費は高止まり状態が継続していることから、依然として予断を許さない状況です。

このような状況のもと、当社グループでは中期経営計画「Innovation toward 2021」の2年目を迎え、その基本方針である「企業価値の向上と持続的成長」の実現のため、「収益力の更なる向上」「成長への取り組み」「経営基盤の強化」を推進する一方、コーポレートブランディング活動にも継続的に取り組んでまいりました。

当社グループの当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は698,390百万円（前年同期比2.3%減）、営業利益は16,036百万円（前年同期比20.0%減）、経常利益は18,635百万円（前年同期比20.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は12,931百万円（前年同期比25.2%減）となりました。

各セグメントの経営成績は次のとおりであります。

#### 漁業・養殖事業

漁業・養殖事業は、国内外の水産資源の持続可能かつトレーサビリティの確保できる供給源として、効率的な操業により収益の確保に努めました。

当第3四半期連結累計期間は、カツオの取扱増、マグロの出荷増により増収となりましたが、マグロの原価高・カツオの魚価安により利益率が低下した結果、漁業・養殖事業の売上高は29,904百万円（前年同期比11.2%増）、営業利益は50百万円（前年同期比95.8%減）となりました。

#### 商事事業

商事事業は、国内外にわたる調達・販売ネットワークを持つ水産商事ユニット・畜産商事ユニット、市場流通の基幹を担う荷受ユニットから構成され、国内外の市場動向を注視しながらお客様のニーズに対応した的確な買付販売と水産加工事業の強化により、収益の確保に努めました。

水産商事ユニットは、量販店・外食向けの販売が好調で増収となりましたが、マグロの相場下落や中国向け高級商材の販売不振により減益となりました。

荷受ユニットは、鮮魚全般の取扱高が減り、減収となりました。また、相場安や消費低迷により利益率も低下し、減益となりました。

畜産商事ユニットは、牛肉・豚肉で取扱増となり、また、豚肉の利益増により、増収増益となりました。

以上の結果、商事事業の売上高は342,978百万円（前年同期比2.0%減）、営業利益は3,234百万円（前年同期比12.4%減）となりました。

#### 海外事業

海外事業は、中国・タイにおける水産物・加工食品の販売に加え、オセアニアでの基盤を強化している海外ユニット、すりみ等の生産を中心とした北米商材の日本・北米・欧州での販売を展開する北米ユニットから構成され、水産物と加工食品の世界的な需要拡大に対応し、グローバル市場における収益の確保に努めました。

海外ユニットは、前年に比べ日本産青物魚の輸出事業等の売上が伸びなかったものの、ニュージーランドでの漁獲好調とタイのペットフード事業での設備増強による操業効率の改善により、減収増益となりました。

北米ユニットは、欧州販売会社においては積極的な販売により増収となりましたが、北米鮭鱒の漁獲減やチリ銀鮭の相場下落、東カナダのカニ取扱数量減、マダラの減枠による取扱数量減等により全体として減収減益となりました。

以上の結果、海外事業の売上高は122,469百万円（前年同期比8.5%減）、営業利益は3,561百万円（前年同期比41.8%減）となりました。

加工事業

加工事業は、家庭用冷凍食品の製造・販売を行う家庭用冷凍食品ユニット、缶詰・フィッシュソーセージ・ちくわ・デザート等の製造・販売を行う家庭用加工食品ユニット、業務用商材の製造・販売を行う業務用食品ユニット、及び化成食品・調味料・フリーズドライ製品の製造・販売を行う化成ユニットから構成され、お客様のニーズにお応えする商品の開発・製造・販売を通じて収益の確保に努めました。

家庭用冷凍食品ユニットは、販促強化により売上は前年並みとなるも、工場稼働減による原価上昇があり、若干の減益となりました。

家庭用加工食品ユニットは、缶詰やフィッシュソーセージ等の価格改定が受け入れられたものの、青魚缶詰の販売が安価な輸入缶詰の影響により、また、ゼリーの販売が梅雨明けの遅れにより減少したことから減収減益となりました。

業務用食品ユニットは、介護食、コンビニエンスストア、生協向け等の取り組みが下支えとなり、販売が好調に推移したことから増収増益となりました。

化成ユニットは、DHA・EPAやフリーズドライ製品の販売が引き続き好調に推移し増収増益となりました。

以上の結果、加工事業の売上高は179,376百万円（前年同期比0.7%減）、営業利益は6,151百万円（前年同期比4.6%増）となりました。

物流事業

物流事業は、冷蔵保管事業において首都圏をはじめとする大都市圏の旺盛な保管需要を取り込んだことにより、増収となりました。また、燃料費調整単価の上昇等に伴う動力費の増加や労務コストの上昇があったものの、減価償却費等が減少した結果、売上高は12,612百万円（前年同期比0.9%増）、営業利益は1,779百万円（前年同期比16.4%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は572,650百万円となり、前連結会計年度末に比べ52,332百万円増加いたしました。これは主として売上債権及びたな卸資産の増加によるものであります。

負債は410,887百万円となり、前連結会計年度末に比べ40,948百万円増加いたしました。これは主として借入金及び仕入債務の増加によるものであります。

非支配株主持分を含めた純資産は161,762百万円となり、前連結会計年度末に比べ11,383百万円増加いたしました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の通期の連結業績予想は、当第3四半期連結累計期間における実績を勘案し、2019年5月13日に公表しました内容から修正しました。

詳細につきましては、本日（2020年2月3日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	12,132	16,961
受取手形及び売掛金	114,040	145,610
たな卸資産	163,521	174,051
その他	10,084	11,814
貸倒引当金	△420	△518
流動資産合計	299,359	347,921
固定資産		
有形固定資産		
土地	47,723	47,815
その他(純額)	92,627	96,504
有形固定資産合計	140,351	144,320
無形固定資産		
のれん	8,060	7,524
その他	12,394	11,845
無形固定資産合計	20,454	19,370
投資その他の資産		
投資その他の資産	63,665	64,489
貸倒引当金	△3,512	△3,450
投資その他の資産合計	60,152	61,039
固定資産合計	220,958	224,729
資産合計	520,318	572,650
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	33,512	49,070
短期借入金	126,186	143,731
引当金	2,280	1,331
その他	41,813	43,494
流動負債合計	203,792	237,628
固定負債		
長期借入金	137,221	144,429
退職給付に係る負債	20,507	20,073
引当金	102	121
その他	8,313	8,634
固定負債合計	166,145	173,259
負債合計	369,938	410,887
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	20,000	20,000
資本剰余金	39,697	39,756
利益剰余金	62,113	73,462
自己株式	△72	△76
株主資本合計	121,739	133,142
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,098	5,877
繰延ヘッジ損益	14	8
為替換算調整勘定	△1,455	△2,936
退職給付に係る調整累計額	△42	△149
その他の包括利益累計額合計	3,614	2,799
非支配株主持分	25,025	25,821
純資産合計	150,379	161,762
負債純資産合計	520,318	572,650

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	715,159	698,390
売上原価	617,804	605,188
売上総利益	97,354	93,202
販売費及び一般管理費	77,307	77,165
営業利益	20,046	16,036
営業外収益		
受取配当金	926	981
雑収入	4,316	3,293
営業外収益合計	5,242	4,274
営業外費用		
支払利息	1,316	1,315
雑支出	493	360
営業外費用合計	1,810	1,676
経常利益	23,478	18,635
特別利益		
関係会社出資金売却益	931	—
受取保険金	2,961	1,507
受取賠償金	—	1,940
その他	755	292
特別利益合計	4,648	3,740
特別損失		
固定資産処分損	301	173
減損損失	331	—
災害による損失	316	628
その他	31	37
特別損失合計	980	838
税金等調整前四半期純利益	27,146	21,536
法人税等	7,919	6,589
四半期純利益	19,227	14,947
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,941	2,016
親会社株主に帰属する四半期純利益	17,285	12,931

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	19,227	14,947
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,694	783
繰延ヘッジ損益	46	△10
為替換算調整勘定	△629	△998
退職給付に係る調整額	△103	△108
持分法適用会社に対する持分相当額	△347	△478
その他の包括利益合計	△3,728	△813
四半期包括利益	15,499	14,133
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	13,877	12,116
非支配株主に係る四半期包括利益	1,622	2,017

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

一部の連結子会社の税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	漁業・ 養殖	商事	海外	加工	物流	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	26,894	349,977	133,908	180,684	12,496	703,961	11,198	715,159	—	715,159
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	9,433	18,045	21,642	4,419	4,765	58,306	368	58,675	△58,675	—
計	36,327	368,023	155,551	185,103	17,261	762,267	11,566	773,834	△58,675	715,159
セグメント利益	1,180	3,693	6,114	5,882	1,528	18,398	1,058	19,457	588	20,046

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飼料等の保管業、海運業、不動産業及び毛皮・ペットフードの製造販売業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額588百万円には、セグメント間取引消去△8百万円及び全社費用配賦差額597百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	漁業・ 養殖	商事	海外	加工	物流	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	29,904	342,978	122,469	179,376	12,612	687,341	11,049	698,390	—	698,390
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	8,469	16,179	18,679	4,516	4,859	52,704	253	52,958	△52,958	—
計	38,373	359,158	141,148	183,893	17,472	740,045	11,303	751,349	△52,958	698,390
セグメント利益	50	3,234	3,561	6,151	1,779	14,778	855	15,634	401	16,036

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飼料等の保管業、海運業、不動産業及び毛皮・ペットフードの製造販売業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額401百万円には、セグメント間取引消去70百万円及び全社費用配賦差額331百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。